



担 当	職業安定部職業安定課 課長 植木 薫 (担当者)
	地方労働市場情報官 青山 繁 電話 028-610-3555

労働市場のようす(平成24年8月の求人・求職の取扱状況)

**有効求人倍率(季節調整値)は、前月と同水準の0.84倍となった。
雇用情勢は依然として厳しいものの、持ち直している。**

栃木労働局(局長 藤井 敏行)は、平成24年8月の労働市場のようすを下記のとおり取りまとめました。

1 求人倍率の動き(季節調整値)

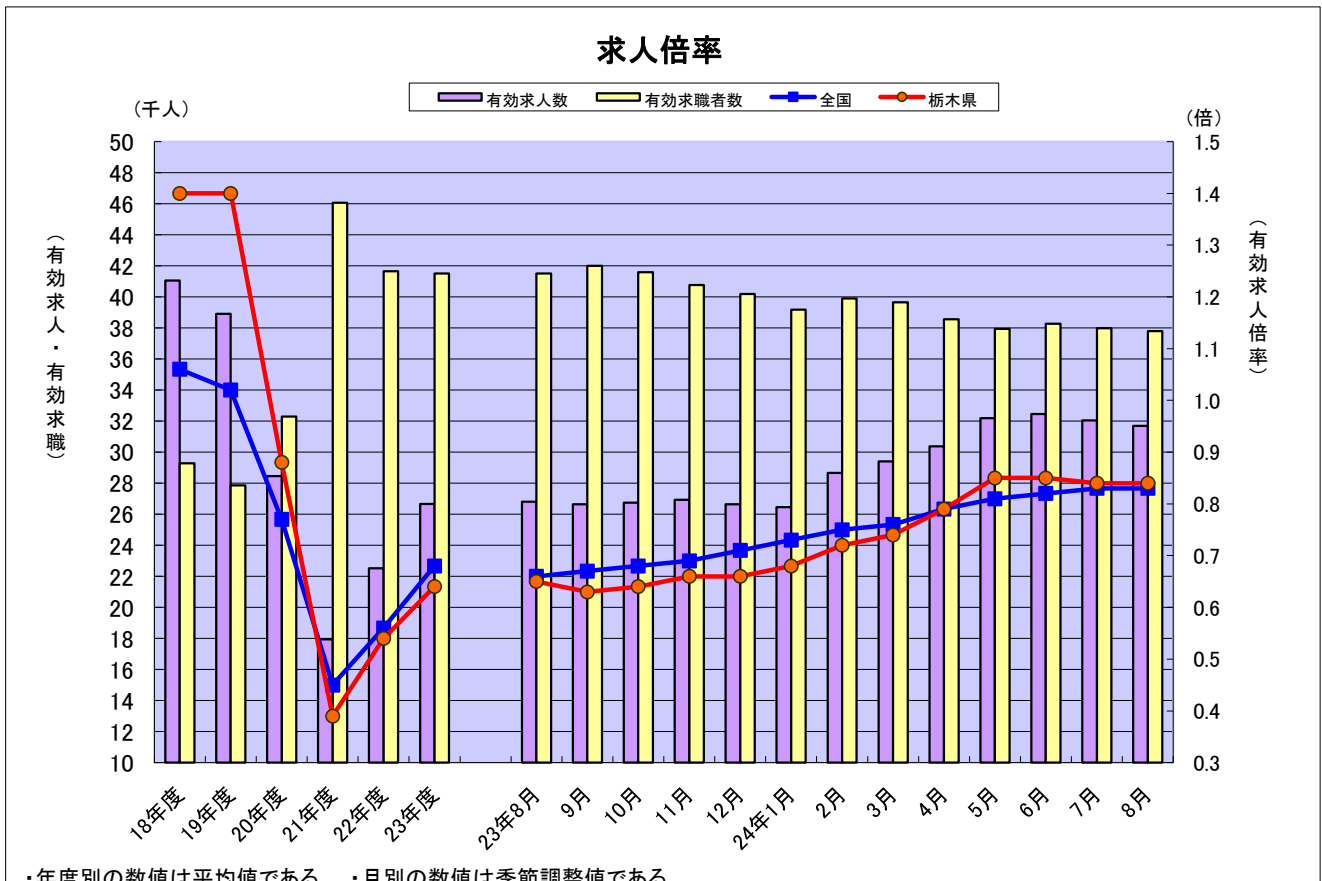
- ① 新規求人倍率は1.34倍となり、前月を0.03ポイント下回った。
- ② 有効求人倍率は0.84倍となり、前月と同水準となった。(全国0.83倍、第19位)
- ③ 正社員求人倍率(原数値)は、0.56倍となり前年同月を0.15ポイント上回った。

2 求人の動き(原数値)

- ① 新規求人数は12,114人で、前年同月より12.6%増加した。
- ② 有効求人数は31,314人で、前年同月より17.6%増加した。

3 求職者の動き(原数値)

- ① 新規求職者数は7,837人で、前年同月より10.1%減少した。
有効求職者数は37,992人で、前年同月より9.4%減少した。
- ② 雇用保険受給資格決定件数は1,830件で、前年同月より16.4%減少した。
雇用保険受給者実人員は9,360人で、前年同月より18.3%減少した。



※平成23年12月以前の季節調整値は新季節指数により改訂されている。

平成24年8月の雇用情勢概況

【求人倍率の動向】

- 有効求人倍率(季節調整値)は0.84倍となり前月と同水準。
4ヶ月連続で全国平均を上回り、順位は第19位。
(過去最低は平成21年7、8、9月の0.36倍)
- 新規求人倍率(季節調整値)は1.34倍と、前月より0.03ポイント低下。
16ヶ月連続1倍台で推移。

【新規求人の動向】

- 新規求人数(パートを含む原数値)は12,114人で前年同月より12.6%増と、28ヶ月連続で前年比増加。
8ヶ月連続で1万人を超え、堅調に推移している。

○ 主な産業別の状況

〈建設業〉平成22年5月から28ヶ月連続して前年比増加。

住宅関連求人の増加傾向が続いている。
一般家庭向け省エネ設備関係求人が増加。

〈製造業〉3ヶ月連続での前年比減少。

8月においても、昨年のサプライチェーン回復に伴う増加の反動がみられる。
『輸送用機械器具製造業』については、前年比▲49.5%と、3ヶ月連続で前年比減少。昨年のサプライチェーン回復に伴う増加の反動減に加え、エコカー補助金の見直しによる影響もみられる。
スーパー、コンビニエンスストア向け総菜、デザート等の製造は引き続き好調。

〈卸売業、小売業〉10ヶ月連続での前年比増加。

個人消費の回復に伴い小売業の求人が増加傾向にあるが、パートタイム求人の増加が顕著。

〈宿泊業、飲食サービス業〉2ヶ月連続での前年比増加。

修学旅行等の団体での予約が戻ってきたことによる求人が増加。

〈医療、福祉〉3ヶ月連続で前年比増加。

新規の施設設置、または事業拡大による高齢者関係福祉施設からの求人が引き続き堅調。